

避難所運営ゲーム（HUG）による防災訓練

11月9日（土）総和中学校において運動部の皆さんに参加していただき、避難所運営ゲーム（HUG）を開催しました。

ゲームの目的は

1. 災害が発生し、地域の人々が避難すると学校はどのように変わるか。
2. 学校を避難所として運営するために何をしなければならないか。
3. そのために日ごろからどのような準備が必要か？

年齢、性別、国籍、それぞれの事情をかかえる人々が避難したとき、どのようなことが考えられるか。グループ別に討議し、続いて全体会で班ごとにまとめました。

学校が勉強の場所から助けあう場所になるルールを作り、働ける人は動くなど意見も出てゲームを通して貴重な経験をしました。



簡易トイレの設置実演



班で避難所の話し合い



全体の様子



班の意見発表

ソフトボール大会

12月8日（日）古河イーエス中央運動公園自由広場で、第5回ソフトボール大会が開催されました。

3試合行われ、男女混合チームでの試合もありました。

青空のもと冷たい風も吹きましたが、皆さんプレーを楽しんでいました。

豚汁もふるまわれ、暖かさが身に沁みました。



令和5年度決算報告

科 目	予算額	決算額	増減額	摘 要
前年度繰越金	1,069,809 円	1,069,809 円	0 円	
運 営 助 成 金	120,000 円	120,000 円	0 円	古河市より
事 業 助 成 金	380,000 円	136,000 円	△ 244,000 円	イベント事業 0 円 自主防災事業 70,000 円 健康づくり事業 36,000 円 広報紙発行事業 30,000 円
負 担 金	50,000 円	50,000 円	0 円	10 地区負担金
会 費	0 円	0 円	0 円	
雑 入	5,191 円	15,010 円	9,819 円	広告料
収 入 合 計	1,625,000 円	1,390,819 円	△ 234,181 円	
科 目	予算額	決算額	増減額	摘 要
会 議 費	50,000 円	3,734 円	△ 46,266 円	
事 業 費	630,000 円	227,673 円	△ 402,327 円	イベント事業 0 円 自主防災事業 105,464 円 健康づくり事業 55,109 円 広報紙発行事業 67,100 円
事 務 費	30,000 円	7,255 円	△ 22,745 円	
負 担 金	30,000 円	13,000 円	△ 17,000 円	
予 備 費	885,000 円	0 円	△ 885,000 円	
支 出 合 計	1,625,000 円	251,662 円	△ 1,373,338 円	

※収入合計 1,390,819 円－支出合計 251,662 円＝残金 1,139,157 円（令和6年度へ繰越）

令和6年度予算

科 目	本年度予算	前年度予算	増減額	摘 要
前年度繰越金	1,139,157 円	1,069,809 円	69,348 円	
運 営 助 成 金	120,000 円	120,000 円	0 円	古河市より
事 業 助 成 金	380,000 円	380,000 円	0 円	イベント事業 100,000 円 自主防災事業 140,000 円 健康づくり事業 80,000 円 広報紙発行事業 60,000 円
負 担 金	50,000 円	50,000 円	0 円	
会 費	0 円	0 円	0 円	
雑 入	5,843 円	5,191 円	652 円	
収 入 合 計	1,695,000 円	1,625,000 円	70,000 円	
科 目	本年度予算	前年度予算	増減額	摘 要
会 議 費	50,000 円	50,000 円	0 円	
事 業 費	630,000 円	630,000 円	0 円	イベント事業 150,000 円 自主防災事業 210,000 円 健康づくり事業 120,000 円 広報紙発行事業 150,000 円
事 務 費	30,000 円	30,000 円	0 円	
負 担 金	30,000 円	30,000 円	0 円	
予 備 費	955,000 円	885,000 円	70,000 円	
支 出 合 計	1,695,000 円	1,625,000 円	70,000 円	

防災体験研修

7月6日（土）10地区防災安全部会主催の研修が、東京有明の東京臨海広域防災公園で行われました。

最大震度7の首都直下地震が起きたら、発生後の「72時間」をどう生きるかというテーマで、生き抜く知恵を学ぶ体験です。

この施設は、国の防災拠点で、1階ではエレベーターの中で防災し、脱出した後、暗闇の中を火災の現場や家具の倒れた家を抜けて避難場所へ移動、2階は防災学習ゾーンで、基本的に備えておくものと、それぞれの暮らしの特性に合わせて加えるものについて考えるエリアです。また、東京都の膨大な備蓄もガラス越しに見学しました。

私達の地域は、首都圏への通勤通学も多く地元の防災と共に、家族で話し合っておく必要がありそうです。



女沼スポーツの祭典

10月6日（日）古河市下辺見小学校で女沼行政区主催の女沼スポーツの祭典が開催されました。

演技には、子どもからお年寄りまで参加し、実況も入って会場を盛り上げていました。

役割分担されて全体が進行しており、女沼行政区の地域力を感じました。



上辺見行政区「夏祭り」

7月28日（日）上辺見行政区主催、恒例の「夏祭り」が開催されました。神輿・山車・模擬店が参列。

子どもたちの汗に濡れた顔が印象深いものでした。



協力型防災ゲーム「LIFE」

9月28日（土）コミュニティセンター総和において協力型防災ゲーム（LIFE）が防災安全部会の主催で開催されました。

このゲームは防災の「ノウハウ」を学ぶのではなく、実際におきた災害を疑似体験するもので、みんなで協力して生存を目指すゲームです。



女沼ささら

11月10日（日）女沼のささらが、五穀豊穡・家内安全を祈念して行われました。

古河市無形文化財に指定されており、「前獅子」「女獅子」「後獅子」から構成されている獅子舞です。



副会長古池氏NHK「いば6」出演

9月24日（火）10地区コミュニティの副会長古池氏が、NHK水戸放送局の「いば6」に出演しました。古河市の防災士であり「忘れた頃でなく、明日来るかもしれない」災害にどう対処するのかを熱く語られていました。



ねんりんピック 全国大会出場

10月18日（金）～22日（火）鳥取県で開催された「ねんりんピック」（全国健康福祉祭）に、女沼在住の井上陽久さん率いる女沼行政区6名を含む、古河市民15名が、ソフトボール種目に古河市で初めて参加しました。皇室の挨拶もあり、1回戦で敗退となりましたが楽しい大会でした。



知りたいな 私たちの住んでいる地域（2）

私たちが住んでいる地域はどんな所だったのか。

郷土史研究会の先輩方に教えて頂きながら少しずつ調べてみました。

女沼には西北部と東部に平地林が多くあり、東西中央に鎌倉街道と云われる古道が前林方面に通じ、上辺見東側水田を超えて女沼側に入る古道は、^{あとがいどう}後街道（鎌倉街道より古い・金沢工業西側）と云われ、八幡太郎義家（源義家）が奥州征伐に軍行した古道と古老の伝えがあります。

又、上辺見（^{あふみづかふん}現今泉地内）に在った^{せんぐう}鎧塚古墳上の香取・八幡の合祀神社（現在古墳消滅、神社遷宮）に、源義経が^{あふみ}鎧を埋めたとの伝えもあり、義経は奥州平泉を目指した時と思われる。

光隆記録（古河志記載年代不明）の光隆氏は、寛政の頃古河台町に住み、源九郎義経奥州落ちに至り、馬の飼養を乞得て後に開運せば云々すべしと書きたる証文を弁慶より得て、世々持伝えたと云う。

天文22年に遷宮した香取・八幡神社は、上辺見集落北部に鎮座し、土井藩士小出重固による古河志に、関戸村の関所の跡は、村の西方上辺見村へ出る坂の上と記されています。

関戸村から上辺見香取・八幡神社前を通る道も、鎌倉街道と古老の伝えがあります。

当時、いざ鎌倉と言った鎌倉に続く陣馬の通れる道は、鎌倉街道と云ったそうです。

上辺見は、西牛谷の南に位置し、東は釈迦沼（現在は水田）、西は大山沼（現在は水田）があったが、天正18年（1590年）古河藩領になり、岡郷組に属して明治に至ったそうです。

（古河市郷土史研究会会員 亀田輝夫氏 監修）

編集後記

寒さの中にも少しずつ春の足音が聞こえてきました、皆様お元気にお過ごしですか。

本日第10地区広報紙第9号をお届けいたします。

コミュニティの交流のために、これからも地域の情報をお知らせください。

広報紙9号を担当したのは、小林正美（33-2329）、向原勝子、船橋正美でした。

この部分には地元協力者の
広告が掲載されています。